

「新たな発見」

皆様こんにちは。とうとう留学生活も残り 1 か月となりました。近頃、留学前に考えていたことは実行できているのか、よく自分に問いかけております。日本を出発する前、1 年もあれば何でもできる、いろいろなことに挑戦しようと希望にあふれておりました。

現状としては、想像以上に成長できた部分もある一方、思い通りにいかない部分もあります。例えば英語に関して言えば「通じる」と「話せる」ことにここまで大きな壁があるとは思いませんでした。日常生活の中で、言葉が壁となることは、ほとんどなくなりました。けれど、どうしても自分の話す英語はつたなく、若者言葉は難しく、日本語の様には楽に話すことが出来ません。しかし、それは問題ではないと感じるようになりました。よく言われることですが、言葉はあくまでコミュニケーションの「ツール」です。何より大事なのは、話す内容や、話したいと思うこと、諦めない事なのだと、実感するようになりました。残り 1 ヶ月も全力で取り組んでいきたいと思っております。

「アメリカで日本文化を学ぶ」

フィンドレー大学には、スタディーツアーとして日本を訪れるプログラムが 3 つあります。私は、そのうちの 1 つの薬学専攻の学生が日本に行くプログラムの、事前学習のサポートを日本人留学生の笠島君と一緒にしております。

日本食レストランがほとんどないこの町で、はじめに日本の味を知ってもらおうと思い、一緒に日本食を作りました。カレーを作ることにしたのですが、ここで驚きの事実が。北海道出身の笠島君が言うには、カレーの具は餃子が当たり前だそうです。インターネットで調べると、確かに餃子カレー屋さんが北海道にはありますが、それが当たり前のことなのかは、自分にとっては分かりません。しかし、今回は笠島君を信じて餃子カレーを「日本食」として、食べてもらいました。アメリカに来て、まさか新たな日本食を知るとは、驚きです。これも、多様性の一部なのかなと思いました。



北海道では常識の餃子カレー

「フロリダ旅行」

留学生活、最後の休みを利用してフロリダ州に旅行に行きました。現地ではNASA、ディズニーワールドを訪れました。特に印象に残っているのは NASA のケネディー宇宙センターです。車で1周するのに30分を超える広大なスペースを有し、来場者はスペースシャトルの発射台の見学や、惑星に関する話を聞くことが出来ます。本物の発射台は、とても大きく、けれど人間が宇宙に行くための乗り物と考えるとあまりにも小さいと感じました。また、様々な映像の中で宇宙飛行士たちは、国の英雄、子どもたちのあこがれとして描かれており、アメリカにおける宇宙開発の立ち位置を感じました。

余談ですが、この宇宙センターはあまりに広いためワニをはじめとした、野生動物が敷地内に生息しております。ガイドの方が Wild Pig (ワイルドピッグ) がいるとおっしゃっていたので、日本の単語帳で習った通りであればイノシシがいると思ったのですが、そこには野生のピンクの豚がいました。まだまだ、単語帳で習った知識を超えて、勉強していかななくてはと感じました。



スペースシャトルの見本



宇宙飛行士の壁画